

2014年8月28日  
在リオデジャネイロ日本国総領事館

### リオ州の安全情報(2014年31号)

#### フラメンゴ地区における市バス襲撃事件の発生

州軍警察によれば、昨日27日午後、フラメンゴ地区において、市バスが襲撃され、犯人グループと乗車していた元軍警察官との間で銃撃戦に発展する事件が発生し、犯人グループ3人のうち2人が死亡、1人が負傷して逮捕されました。

事件の概要は以下の通りです。

- 8月27日午後1時30分頃、セントロ地区からレブロン地区に向かう市バス(132番)が、アテホ・ド・フラメンゴ大通りを走行中、フラメンゴ地区のブアルケ・デ・マセド通り(総領事館から数百メートル北方の地点)にさしかかったところ、バス内で乗車していた3人組の男のうち1名が銃を取り出し、約30人の乗客に対して金品を要求しました。
- その場に居合わせた元軍警察官(当地では、退役警察官であっても終身的に銃を所持可)が、犯人に抵抗するため発砲し、銃撃戦に発展しました(乗客の一人によれば、約10発から15発の銃声が聞こえたとのこと)。
- 3人組のうち銃を所持していた男は射殺され、別の男は撃たれた後バスを降車して逃走しましたが、数百メートル先で力尽きて死亡しているのが確認されました。もう一人の男も怪我をしており、軍警察に逮捕された後病院に搬送されたとのことでした。
- 応戦した元軍警察官も腕に怪我をして病院に入院しました。他の乗客、運転手に怪我はなかったとのことでした。
- 3人の身元は未だ不明であり、警察では逮捕された男の回復を待って、事情を聴取する予定とのことでした。

#### 《当館からのアドバイス》

- 1 当地では、北部地方を中心にバスの襲撃事件が依然として頻発しており、移動の際には比較的安全なタクシーの利用を強くお勧めします。
- 2 今回の事件もセントロ地区発着の便で発生しており、特にセントロ地区からの市バス利用は注意が必要です。
- 3 万が一強盗に遭遇した場合、決して抵抗することなく、落ちついて相手の要求に応じるようにしましょう。